

働く機械を世の中に紹介する

世界各地の現場で、建設機械が黙々と作業する姿をとらえたコマツの企業広告シリーズ。現場の空気感をそのまま封じ込めた迫力ある写真に、新聞を開いた手を思わず止めたことがある人も多いのではないだろうか。

「毎回国内外を問わず、コマツの建設機械が実際に稼働している現場へ行きます。安全靴とヘルメット姿で担当の方にお話を聞き、そこで感じたことを、私もクリエイティブチームは真摯に写真とコピーで表現する。そうすることで、コマツという企業の本当の姿が見えると思うんです」



「火砕流が起る恐れのある火口の反対方向へ向けてクルマをとめるなど、現場の防災ルールに従いながら、通常は立ち入り禁止の場所へ入りました。大勢の人の命を奪った雲仙普賢岳の威圧感に、微力かもしれないけれど、一日も早い復旧を目指して建設機械が対峙している」。その様子をなんとか表現したかった。どの現場で働く方々も、機械の稼働時間をさいて、取材に応じてくださいます。そのお話がとにかく興味深い。ですので、担当コピーライターも

「本当の姿を伝えるには、一定量のことは必要です。そして、土にまみれた機械の写真とことばがうまく溶けあえば、写っている機械がただの機械ではなく、血の通った何かに見えてくるのでは?と思います。たぶん、それが本当の姿です。やっぱり私は新聞広告が一番好きです」

「火砕流が起る恐れのある火口の反対方向へ向けてクルマをとめるなど、現場の防災ルールに従いながら、通常は立ち入り禁止の場所へ入りました。大勢の人の命を奪った雲仙普賢岳の威圧感に、微力かもしれないけれど、一日も早い復旧を目指して建設機械が対峙している」。その様子をなんとか表現したかった。どの現場で働く方々も、機械の稼働時間をさいて、取材に応じてくださいます。そのお話がとにかく興味深い。ですので、担当コピーライターも

「火砕流が起る恐れのある火口の反対方向へ向けてクルマをとめるなど、現場の防災ルールに従いながら、通常は立ち入り禁止の場所へ入りました。大勢の人の命を奪った雲仙普賢岳の威圧感に、微力かもしれないけれど、一日も早い復旧を目指して建設機械が対峙している」。その様子をなんとか表現したかった。どの現場で働く方々も、機械の稼働時間をさいて、取材に応じてくださいます。そのお話がとにかく興味深い。ですので、担当コピーライターも

「火砕流が起る恐れのある火口の反対方向へ向けてクルマをとめるなど、現場の防災ルールに従いながら、通常は立ち入り禁止の場所へ入りました。大勢の人の命を奪った雲仙普賢岳の威圧感に、微力かもしれないけれど、一日も早い復旧を目指して建設機械が対峙している」。その様子をなんとか表現したかった。どの現場で働く方々も、機械の稼働時間をさいて、取材に応じてくださいます。そのお話がとにかく興味深い。ですので、担当コピーライターも

「火砕流が起る恐れのある火口の反対方向へ向けてクルマをとめるなど、現場の防災ルールに従いながら、通常は立ち入り禁止の場所へ入りました。大勢の人の命を奪った雲仙普賢岳の威圧感に、微力かもしれないけれど、一日も早い復旧を目指して建設機械が対峙している」。その様子をなんとか表現したかった。どの現場で働く方々も、機械の稼働時間をさいて、取材に応じてくださいます。そのお話がとにかく興味深い。ですので、担当コピーライターも



建設機械が、ハイブリッドになる。未来の話ではなく、今日の話です。

「火砕流が起る恐れのある火口の反対方向へ向けてクルマをとめるなど、現場の防災ルールに従いながら、通常は立ち入り禁止の場所へ入りました。大勢の人の命を奪った雲仙普賢岳の威圧感に、微力かもしれないけれど、一日も早い復旧を目指して建設機械が対峙している」。その様子をなんとか表現したかった。どの現場で働く方々も、機械の稼働時間をさいて、取材に応じてくださいます。そのお話がとにかく興味深い。ですので、担当コピーライターも

コマツ 2009年4月27日付朝刊掲載



中澤真純さん
なかざわ・ますみ/1962年茨城県生まれ。(株)電通第1クリエイティブ局 クリエーティブ・ディレクター。茨城大学卒業。東京藝術大学大学院修了。88年電通入社。95年度朝日広告賞(第2部)、01年度朝日広告賞(第2部)ほか、受賞。

文/大田聡 写真/星野章